

科目名	石川未来プロジェクトⅡ			授業形態	開講期間	詳細が決まり次第HP等に掲載	
	英文科目名	Project to think about futrue of Ishikawa Ⅱ		①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 ○ 復習用ビデオの録画・配信	開講時間	詳細が決まり次第HP等に掲載	
受講定員等	担当教員	佐川 哲也 外1名			開講場所	後日、指示する	
	単位数	1単位			成績評価の方法	①チーム活動の取り組み状況（出席を含む） ②成果発表（中間、最終） ③レポート・報告書（中間、最終） ④学習取り組み意欲	
定員数	50名						
	特別聴講学生等定員						
	科目等履修生定員						
	シティカレッジ聴講生定員						
	定員超過時の選考方法等	本プロジェクトに対する抱負が記載された応募資料を見て判断					
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)			シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：		受講料
					検定料	入学料	授業料
科目の内容	<p>①石川の未来を見据えて、今すべきことを提案する科目であり、未来の石川を学生が作る、という壮大なプロジェクトでもある。既存の枠組みやしらみにとらわれず、学生らの柔軟な発想力とパワーを結集し、1年かけて提案を作成し、石川県庁をはじめ、重要なステークホルダー（利害関係者）に開く、というプロジェクト型の授業である。</p> <p>②このプロジェクトは単年度の『チーム活動』であるが、各チームが取り組むプロジェクトテーマを統括する大きなテーマ（未来テーマ）は3年に1度変更する。本プロジェクトは2021年から開始する。未来テーマは『人口、100万人。』である。2050年の石川県の人口を100万人にするために、どうすればよいかを考える。2030年達成目標であるSDGs、2050年CO₂実質排出ゼロ、などを見据えたプロジェクトテーマを考案し、1年を掛けてテーマの具体化を進める。</p> <p>③チームは、大学等、学年を超えた混成チームとし、各チームには当コンソーシアムからコーディネータを1名割り当て、プロジェクトの遂行をサポートする。コーディネータは各大学等から選出された教員である。</p> <p>④年間スケジュールの概略は以下の通りですが、プロジェクトの進め方はコーディネータに一任します。</p> <p>⑤科目登録は、登録大学の事情によって、前期・後期に分割されることがある。</p> <p>4月 オリエンテーション、プロジェクトの進め方 5月 <1年生が参加する可能性あり> 6月 情報収集と整理、ブレインストーミング 7月 中間発表 8～9月 自主活動 10月 アイデアの具象化 11～12月 社会実装ほか 1月 報告書作成 2月 成果発表（コンソーシアムの活動として重要な位置づけ）</p> <p>なお、予定は変更されることがある。</p>						その他特記事項
							以下の履修条件の遵守を求める。 チームで活動する。応募は個人であっても、科目内でチームを組成する。リーダーシップ、コミュニケーション力、協調性などを発揮する。所属する大学等、学年とは無関係にチームが組成される。 1年を通して活動する。4～7月、10～2月（2月は成果発表会）の学期期間中は、1～2回/週の活動、長期休暇中は提案を社会実装したり、学期中では困難な一定期間の連続した活動などを行うことがある。 原則的に、活動途中の辞退はできない。 活動時間はテーマの内容や遂行状況により増減するが、科目単位相当の活動を求める。 遠隔および対面による会合を行う。遠隔の会合をおこなうため、各自ノートPCが必要である。
授業担当教員紹介			URL				
ホームページ・メールアドレス等			E-mail				